

構成的に知識科学を作っていく方法： 知識プロセス分析

A Constructive Method for Developing Knowledge Science:
Knowledge Process Analysis



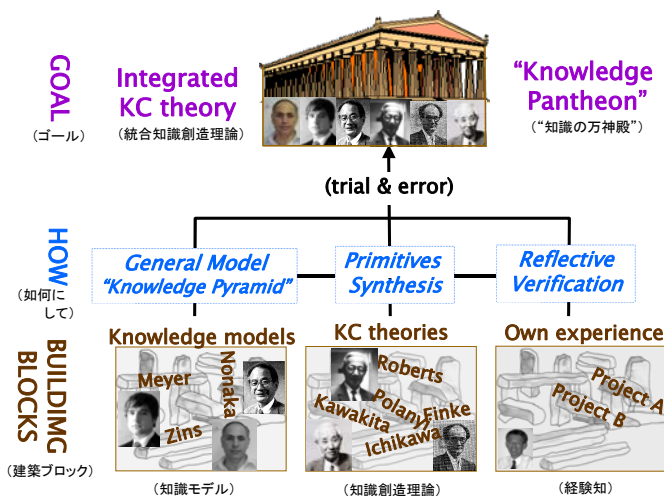
杉山 公造

知識科学研究科

2010 9/29 12:40 – 13:20

知識科学研究科講義棟 1F エントランスホール

「これが知識科学である」と示せるのはまだ当分先のことであろう。しかし、「このようにしていけば知識科学が出来る」という道筋は示せるかもしれない。そのような考えで、知識プロセス分析というものを構成し実践してみた。様々な論者の提示する基本概念や経験を切り出し、それを建築ブロックとして積み上げるとする方法をとる。すべて構成的に作られているので、いくらでも追加・修正・改変ができるし、ディスカッションもしやすい。この方法は一般性を持つので、人の知識作業全般に適用可能である。あるいは知識作業のカテゴリー別の特徴を同一の方法の下で比較することができる。広い土俵の上で野中理論の位置付けも見えてくるし、様々に提案されている知識創造理論の整理・統合ということも無理なくできていく。当日、率直なご意見をいただくことを期待している。



The slides are partly written in English.
Foreign audience is welcome!



エントランスホールは
知識講義棟 1F, 中講義室の真下
学生課前の階段を下りた先です

学内連携セミナーは、JAISTで行われている研究の知識共有を目指しています。専門家以外も楽しめるセミナーを行いますので、ぜひ講師以外の研究科の方もご来聴下さい。

世話人：： 鶴木、小矢野、橋本、長谷川、戸田、寺倉